

平成21年10月20日

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 銚田市立旭南小学校 担当教諭名 飯島 敏子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成21年9月29日(火) 9:25 ~ 13:25
対象学年と人数	全校児童(1~3年の部, 4~6年の部) 139名
派遣講師名と出身国	・グエン・ティー・ホアン・アン(ベトナム) ・新垣 マリア (ペルー) ・リー・ペイ・リン (マレーシア)
活動の内容	1~3年の部(3カ国のコーナーを設置して活動) ・それぞれの国の簡単なあいさつ・遊び 4~6年の部(3カ国のコーナーを設置して活動) ・世界地図を利用して、それぞれの国の位置・気候・地理的特徴遊び ・生活の様子(食べ物等), 文化, お金の単位, 店など ・簡単な挨拶, 遊び, 踊りなど
生徒・保護者等参加者の感想	私がワールドキャラバンで心に残ったことは、まず、ベトナムのことでした。ベトナムは、果物が豊富で、日本では高級なマンゴーがとっても安いことにびっくりしました。私はマンゴーが大好きなのでいいな—と思いました。 次は、マレーシアのことでした。マレーシアは赤道の近くにあつて、一年中夏なので、マレーシアの子どもは雪を見たことがないということにびっくりしました。私は、そのマレーシアの子どもたちに雪を見せてあげたいなと思いました。 よく知らない国も知ることができてうれしかったです。ペルーは服がとってもカラフルでかわいらしかったです。料理もとてもおいしそうで食べてみたいなと思いました。 私は、このワールドキャラバンを終えて、いろんな国に行つて見たいなと思いました。
先生の感想	・パソコンや実物を使って国の様子を見せていただき、分かりやすかつた。ベトナムに行つて見たいと思いました。 ・時間が短く、もっと聞いてみたかつた。 ・子どもたちの質問が少なかつたので、事前に質問事項を考えさせておいてもよかつた。 ・直接その国出身の方からお話が聞けて、貴重な体験だつた。



